

広報



道北なよろ



JA道北なよろ女性部

2008.11.10

あかん遊久の里 鶴雅

JA道北なよろ女性部 道内視察研修

初めての3支部合同の視察研修

あかん遊久の里 鶴雅にて（P15ページ）

JANUARY

新年号

2009 No.13

平成21年1月1日



年頭のご挨拶

代表理事組合長 中島 道 昭

新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日ごろから農協事業をご利用頂いております事に厚くお礼申し上げます。

昨年は、米国発金融危機や原油価格の乱高下落によって世界経済、日本経済が大混乱に陥り、大手企業のリストラ、大型倒産等、国民生活に大きな混乱を起こした一年でありました。農業に於いては肥料、飼料等の大幅な値上がりにより将来への農業経営の不安が起きました。

また、七月に一旦凍結されたWTOが十二月に再開され、日本の主張

する上限関税撤廃、重要品目枠の8%の要求に向け系統上げて努力していくところであります。ファルコナー議長案で合意されれば国内争奪戦が起こり、大変な事態が想定されます。

昨年の当農協の一年を振り返ってみますと、例年より早い融雪で春作業が順調に進み、台風も集中豪雨もなく穏やかな一年でありました。作柄は水稻作況指数百六の歴史的な豊作でありました。青果に於いてはアスパラガスが五月の低温、かぼちゃも気候の変動によって大きな減収となり、青果全体で計画対比九十五%と残念な結果となりました。

酪農に於いては、飼料の高騰で経営が大きく圧迫されましたが、本年より乳価が五円三十銭の値上げと生乳の目標数量増加によりやや明るい兆しが見えてきたところであり、もち米の環境につきましては、平成十九、二十年度の自主減反では

ば北海道の在庫が一掃され、さらに事故米の発生によって消費者が安全・安心を求め国内米が大きく延びたところであります。これによってもち米の不足感が起こり価格の上昇が見られました。本年自主減反が解除され、安定生産、安定供給、安定価格に向けてトレーサビリティをしっかりと守りながら需要者の要望に応

えて参ります。

農協事業に於いては生産者の強い要望でありました馬鈴薯貯蔵施設、真空予冷施設、大豆汚粒施設、種糊温湯消毒施設を完備し、良質な生産物を消費者に供給できる体制となりました。これを基に名寄農業の振興に向けて努力して参ります。

世界的規模の地球温暖化が叫ばれ、食料不足、エネルギー不足、水不足が近い将来起こり、国民生活が困窮の時期が到来します。それにさきがけ、十年間で国内自給率が四十%から五十%に上がる政策が打ち出され、北海道農業の役割は大きくなっていきます。今後担い手が安心して営農できる環境を作り強い農業経営者を育てる環境づくりに努力して参ります。

最後となりましたが、組合員並びに御家族皆様方にとりまして健康で明るい年であることと、本年も豊稔の秋を迎えられますようご祈念申し上げます。上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田稔章



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平成二十一年の輝かしい新年をご家族の皆様とともに迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

顧みれば、昨年の北海道農業は、春先に一部地域で降雪等被害がありました。米の作況指数百六をはじめ、畑作物も総じて良好な年でありました。生乳生産も前年度を上回る等生産者の皆様方の努力が結実した年でありました。これも偏に農家の皆様方のご努力の賜物と深く敬意を表する次第であります。

経済動向では原油価格等が乱高下し、米国発の金融不況が世界経済を大混乱に陥れる等過去に記憶のないほどの一年でありました。

私ども農業界も世界経済の影響を被り、農繁期における肥料・燃油価格の高騰、そして、配合飼料の高騰は農業経営に深刻な打撃を受ける等激動の一年となりました。

また一方では、世界規模での食料不足問題が取上げられ、一部の発展途上国では暴動が起き、我が国においても国内における食料自給率の向上への

の国民意識の高まり、中国からの輸入食品の農業混入問題、事故米の問題等食の安全が問われた年でもありました。

こうした中で、JAグループ北海道は、本道の経済界をはじめ道民とともにWTO農業交渉に対する要請を実施するとともに、肥料・燃油、配合飼料高騰に対する支援対策を要求し、政策実現を果たしたところであります。この政策によって、全道の農家経済の危機的な状況が回復されること

が期待されますが、深刻な打撃によって、脆弱となった生産基盤を回復するためには、長期的な農業政策の確立が求められており、今後ともJAグループ北海道の総力を挙げて一層の努力・尽力することを肝に銘じているところであります。

本年は、昨年からJAグループ北海道が提供しているテレビ番組「森崎博之のあぐり王国北海道」をはじめメディアを積極的に活用して、農業の現場から食卓へ情報を発信し、今後とも、安全・安心な農畜産物の供給を通じて、消費者の皆さんから信頼され、選ばれ、そして北海道農業を応援して頂けるような取組みを展開してまいります。

次にJA経営であります。JA合併事業については、推進重点ケースに対する最終推進年となっており、これらのケース実現に向けた取組みを推進することとしております。JAが組合員の期待に応え、そして地域で信頼され、貢献できる存在となるために経営の健全性の確保に向けた諸対策に取組んでいきます。

さらに、JAグループ北海道全体のコスト低減に向けて、連合会の子会社をはじめ農業関連団体の組織整備・機能強化に積極的に取組む所存であります。

最後に、米国発の金融不況による世界経済の低成長や、WTO農業交渉等国際化の波が、私ども農業界にも本年大きな影響を与えることが懸念されます。今こそ、全道の農家組合員の皆さんをはじめ役員が『一人は万人のために、万人は一人のために』という協同組合の理念をより所にして、JAへの結集を強め、協同運動を強力に展開して

この苦境を打開することが必要であります。本年も災害がなく豊穡の出来秋を迎えることができますよう心から祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

平成二十一年元旦

道北なよろ農業協同組合

代表理事 組合長	中島昭雄
代表理事 専務	種田芳雄
常務 理事	向井孝夫
総務 委員長	菊池隆男
営農 委員長	竹田綱男
購買 委員長	村上清一
理事 (総務)	北野昭一
理事 (購買)	木之内隆一
理事 (総務)	神野幸一
理事 (営農)	我妻和雄
理事 (購買)	平間富久
理事 (営農)	橋本昭二
理事 (購買)	佐々木登二
理事 (営農)	渋梨子健二
理事 (購買)	小川耕司
理事 (営農)	中村秀耕
代表 監事	清水秀満
常勤 監事	菅井和利
監事	尾崎宏文
監事	松下良行

年頭のご挨拶

代表理事専務

種田芳雄



あけましておめでとうございます。組合員の皆様には平成二十一年の輝かしい新春を、ご家族お揃いで健やかに迎へることと心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、農協の事業推進に特段のご理解と、ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

平成二十年は、融雪が例年になく早さで進み農作業も順調なスタートを切ることが出来ました。天候にも恵まれ作物全般に順調に生育し、水稲では北海道一〇六、上川一〇七の作況指数となり当産地に於いても大豊作となりました。畑作に於いては麦・豆類・甜菜が平年を上回る実績となり、青果では馬鈴薯・スイートコンが計画を大きく上回る好結果となりました。露地のグリーンアスパラ・花卉については計画通り、南瓜については玉とまりが悪く収穫直前に鼠による被害も発生し減収となりました。蔬菜についても一部の品目を除き価格が取れず苦戦をした一年でありました。生乳生産については十一月累計で対前年比一〇・七と堅調に推移しております。組合員皆様の日頃のご努力に敬意を表する次第でございます。

農家経済を取り巻く状況は、飼料価格・燃料価格を始め生産資材が一昨年よりさらに高騰し、農家経済を一段と悪化させています。昨秋以降原油の値下がり燃料については値下がりしています。が運賃や資材が下がるまでに時間を要するため先行きに不安も残ります。他方米国の金融不況に端を発した世界経済の混乱が国内経済にも大きな打撃を与えている現状です。企業の人員削減が始まり失業者が多数出ている不況が拡大し消費の減退が心配されます。世界経済の動向で農業資材が高騰している現状は一生産者の努力だけでは吸収出来ません。生産費が高まり再生産費用の確保が困難な状況です。特に二十一年向け肥料価格が七〇％超える値上げとなりホクレン対策に加え、当農協でも肥料の早期引き取り対策を通常一〇〇円のところ三〇〇円上積みして四〇〇円とし、化成肥料価格の上げ幅を四〇％台に圧縮する特別対策を講じてまいります。また、系統組織を通じ国の各種農業対策の予算措置と国内経済の安定に向けた取組を強く求めてまいります。荷受市場を始め取引各社に対しても価格に資材値上り分を反映できるように強く働きかけて来たところでありますが、さらに今年も消費者理解を得るためのPR活動と価格対策に粘り強く取り組んで参ります。

さて、昨年は世界的な穀物不足が起り、国内に於いても食料確保に対する不安や自給率向上への関心が高まりました。また、輸入餃子の農薬混入、事故米の発生など食の安全と安心を脅かす事案が発生いたしました。消費者の輸入食品に対する不安は拡大し、一部企業のモラルのなさに強い怒りを感じます。我々生産者は、安全で安心な農産物の生産に努め、栽培履歴を提示し国内農産物への信頼を高めることが消費拡大につながると考えます。名寄市に於いても「食育」や「地産地消」の取組みが始まっており、規則正しい生活や食事・名寄の気候風土で育った人が名寄で育った作物を食することが一番美味しく健康に良いことと思ひ、この運動の輪を大きく広げて行くことが大切で。また、国に対しても自給率の向上と加工

原料の原産地表示の明記を求めています。

本年二月一日で、道北なよろ農業協同組合が合併五年目を迎えます。この間、平成十九年に策定した農業振興計画・農協中期経営計画に沿って事業推進を図って参りました。青果部関係では、昨春には前年度からの事業で南瓜保管倉庫が完成し集出荷体制が整備されました。昨秋には真空予冷施設が完成し今年度よりスイートコン等の鮮度保持に利用いたします。また同時期に馬鈴薯貯蔵施設も完成し十二月より利用を開始しており、これにより冬季間貯蔵が可能になった結果、長期計画出荷体制が整備されました。施設課関係では昨冬、乾燥施設に導入した大豆汚粒洗浄機を昨秋より稼動しております。また二月稼動を目指し水稻種子の温湯消毒施設の設置工事を進めており、六〇度のお湯に八分の一〇分漬けて消毒をすることで薬剤使用を減らし安全・安心な米作りを進めてまいります。これらの施設を有効利用し安定生産と有利販売に向けて取組んでまいります。購買部関係では、名寄給油所の油タンクの入替えに伴いスタンドのセルフ化に取組み昨年八月にオープンし、安価供給と農業用燃油の安定供給に取組んでまいります。農協の事業運営では、経営のスリム化に向けて本支所間・部署間で業務分担の集約を図り事業効率を高めてまいりました。合併四年を経て、その効果が十分に現れていないのご意見も頂いております。我々も同じ認識を持って本支所間のあり方、業務体制のあり方も検証し二十一年度事業推進を図ってまいります。また、今年度より第二次農業振興計画・第二次農協中期計画（平成二十二年～二十四年）の策定準備に入り、この計画案の中でも考え方を示し組合員皆様のご意見を頂きながら取組んでまいります。

平成二十一年が、組合員皆様にとつてご健勝で、飛躍の年であることと、豊穰の秋をご祈念申し上げます。

本年も、J A道北なよろ役職員一同、力を合せて事業推進に当たって参りますのでご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

年頭のご挨拶

常務理事

向井孝夫



新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には輝かしい新年をお迎えしたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は例年を大きく上回る早さで融雪が進み春作業が順調に進みました。

まさに地球温暖化を実感する天候の推移でありましたが、5月中旬には天候が異変し低温遅霜でアスパラに大きな被害が発生し多少の不安を抱えてシーズンがスタートいたしました。しかしその後天候も順調に推移し、一部作物をのぞき平年若しくはそれを上回る品質・収量を得ることができました。特に水稲は北海道一〇六、上川一〇七の作況指数となり、自主減反をしていたモチ米は対象になりませんでした。うるち米には集荷円滑化対策が発動された年となりました。しかし畜産においては個体販売価格の低迷と飼料の値上がりを経営を直撃し残念ながら苦労の報われない年と

なりました。しかし、農協管内総体では米を中心とした作物の豊作で販売高が合併後最高の年となったことは大変喜ばしいことです。

さて世界経済は一昨年夏からくすぶり続けていたサブプライムローン問題が深刻化し、昨年9月のリーマンブラザーズの破綻で一挙に信用不安に陥り、欧米では大手銀行、証券会社や保険会社が破綻したり政府管理下に置かれる異常事態に陥っております。経済はグローバル化されていることからアメリカ発の信用不安は世界に大きな影響を与え、多くの日本の企業も株価が下落し、証券化商品や株式を保有する金融機関なども経営収支を大きく悪化させ、雇用不安が大きな社会問題となっております。

一方で昨年からの石油の高騰や金融市場の混乱から商品相場に資金がシフトし、更にバイオエタノール生産の影響を受け肥料は原産国の輸出規制もあり、かつてない大幅な値上がりとなりました。肥料の値上がりは前年に比べ一七〇%という大幅なもので、これまでに経験のない上昇率であります。これらの異常高騰を受け当組合はホクレン対策に加え激変緩和対策として平成20年肥料に対して早期予約・早期引取に、通年対策とあわせ約九千万円の価格対策を講じ値上げ幅を140%に圧縮いたしました。しかしこのような価格対策は毎年出来ることではありませんので、合理的な施肥を行うための土壌診断による施肥設計によって投入する肥料費の削減対策のための土壌診断経費についても行政とタイアップして無料化を行うこ

といたしました。更に肥料成分構成を考慮した製品の開発もメーカーに働きかけ生産費の低減に努める取り組みを進めて参りたいと思っております。

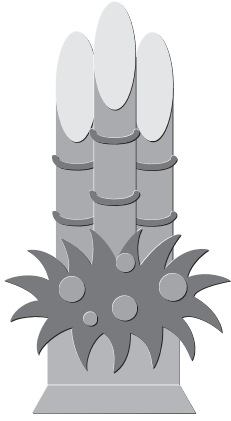
農協も合併して今年で4年の歳月が流れました。この間それぞれの問題を克服して現在に至っておりますが、本年は後を振り返ってみる年でもあると思っております。その上でこれまでの経過の分析をしながら更に合併効果についての諸問題に向かつて行く必要があるかと思えます。又本年が3年を期間として樹立した農業振興計画、中長期計画の最終年を迎えます。特に施設整備はほぼ計画していた事業を前倒しし、完成に至りましたので本年は特にこれらの施設の効率的な運用によつての成果が上がるよう一層の努力をして参ります。

ここにきて世界経済はデフレに転じたことで商品相場も冷却に向かい原油価格も下落し更に農産生産国が豊作を迎えたことで調整局面から安定局面に向かいつつあります。しかし石油資源は枯渇に向かつているのは間違いなく上昇の基軸は変わらなれないと思われま

す。国の食料対策も自給率の向上など、見直しの方向で進められていることは歓迎すべきことです。が、消費者目線を常に意識しながら安心で安全な食料を提供する考えは不変のものとして取り組みを続けて行かなければなりません。終わりになりますが本年が組合員の皆様にとつとも喜び合える豊穡の秋を迎えることができますようご祈念を申し上げ年頭のご挨拶といたします。

迎春

平成二十一年元旦



青果関係組織連絡会

幹事 長 宗万 利行
幹事 日野 勇一
" 齊藤 正光

グリーンアスパラ部会

部長 斉藤 正光
副部長 木田 芳夫
" 磯田 豊

南瓜部会

部長 桶谷 政幸
副部長 南原 進
" 幕田 敬一

蔬菜部会

部長 小泉 博志
副部長 山本 守幸

百合根部会

部長 奥山 茂
副部長 後藤 忠

人参・スイートコーン部会

部長 宗万 利行
副部長 夏井 明弘

玉葱部会

部長 菊地 守
副部長 谷島 智仙

大根部会

部長 斉藤 清志
副部長 武田 修一
" 松下 良行

花き生産組合

組合長 東野 秀樹
副組合長 柿川 博暁

長葱部会

部長 高橋 勉
副部長 伊藤 孝義
" 日光 哲

西瓜・苺・メロン部会

部長 沖沢 道弘
副部長 阿部 和浩

ピーマン部会

部長 日野 勇一
副部長 永井 博宗

トマト部会

部長 住田 信幸
副部長 斉藤 覚

ピヤシリアスパラ研究会

部長 宮下 昌樹
副部長 松下 良行

食用馬鈴薯生産部会

部長 遠藤 幹夫
副部長 宮田 雅祥

加工馬鈴薯部会

部長 北野 智明
副部長 南原 政幸

JA道北なよろ青年部

部長 泊り 雅幸
副部長 林 哲央
" 伊東 浩次

JA道北なよろ女性部

部長 箭原 純子
副部長 川上 則子
" 松江波留恵

JA道北なよろ女性部 名寄支部ひまわり

代表 永井 豊子
副代表 中村 亜矢

JA道北なよろ女性部 智恵文支部若妻会

代表 夏井 政美
副代表 三浦 雅美

智恵文種馬鈴薯部会

会長 長川 勝重
副会長 斉藤 重義

智恵文馬鈴薯機械利用組合

組合長 五十嵐 真吾
副組合長 松下 守

智恵文地区畑地帯総合整備推進会

会長 関谷 邦雄
副会長 岩崎 隆

智恵文コンハーベスター利用組合

組合長 遠藤 俊博
副組合長 上野 宗男

智恵文生麦組合

組合長 上野 宗男
副組合長 阿部 公彦

智恵文コントラクター利用組合

組合長 山口 淳
副組合長 池田 勇

JA道北なよろ中国研修生 受入協議会

会長 五十嵐 勝
副会長 飯塚 明夫

名寄市もち米生産組合

組合長 及川 唯夫
副組合長 横山 巖
" 谷内 司

風連支部

支部長 及川 唯夫
副支部長 谷内 司
書記 伊賀 敏彦

名寄支部

支部長 横山 巖
副支部長 村中 洋一
" 宗万 政幸

うるち米生産組合

組合長 山下 則之
副組合長 安達 啓治

JA道北なよろ酪農部会

部長 後藤 良治
副部長 佐竹 敦
" 田代 信夫

新年のご挨拶

上川農業改良普及センター名寄支所

支所長 菅原健行



あけましておめでとうござい
す。皆様には、新春をご健勝で迎
えられたこと心よりお慶び申し上げ
ます。

昨年の気象、作況を顧みますと、
融雪が四月一日と例年になく早ま
り、耕起作業は順調に進みました。
しかし、春一番の収穫物であるア
スパガスが四月二六日、五月九日
と霜の害に遭いました。特に、五月
九日の被害はほぼ全域で発生し、
これからという時にとても残念なこ
とでした。

その後、気温は周期的に変わり、
寒暖の振れが大きく、降水量はや
や少なめに経過しました。収穫を終
えてみると、水稻は平年を上回る収

うるちでは低蛋白米が多く生産さ
れました。畑作物でもおおむね平
年を上回る成果をあげたことと思
います。

本年は、生産資材(特に肥料)の
高騰が農業経営に大きく影響及ぼ
してくると思われます。昨秋出され
た土壌分析の診断結果を活用する
ことが大切です。まず銘柄・施肥
量を再点検し適正施肥に努めま
しょう。

普及センターでは平成一七年より
重点地域を対象に次のことに取り
組んできました、曙地域では、も
ち米イエスクリーン栽培の増収
対策、青年組織の活動支援。西
風連地域では、秋まき小麦栽培
システムプランの実践。広域花
きでは垂りん酸資材施用による
球根の養成、広域畑作では、
春まき小麦の初冬まき栽培の普
及などです。

今年も普及活動五カ年計画の最
終年を迎え、それぞれの地域で
得た成果を広めていくことに
つとめます。

最後になりましたが、本年も皆
様が健康で豊穰の秋を迎えられ
ますことをご祈念し、年頭の
挨拶とします。

JAフレッシュマンハウス

「社会人になったら、まず車」と、お考えのあなたへ！
あなたのカーライフをトータルサポートするJAでお考えく
ださい。



JAなら、どのメーカーでも見積もりOK！！ほしい車が沢山あっても1ヶ所で
見積もりが揃います。
中古車も独自のネットワークで希望に沿った車種をすぐにご用意いたします。

JAなら低金利の「マイカーローン」でラクラクお支払い。欲しい車がより身
近に！！

JA共済は掛金がおトク。更に値引率も高く、年数が経つほど差が出ます。
また、JAならではの、「自賠責セット割引」あります。

車検、一般整備はもちろん車に関することなら何でも「メカニックセンター」に
お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ JA道北なよろ メカニックセンター

TEL・FAX(直通)

01655-3-2168

冬にアスパラガスを育てよう

…【プロジェクト⇔アスパラキッズ(アスパラガス根株を利用した食育)】

上川農業改良普及センター名寄支所は、11月14日に名寄市農務課と名寄市教育委員会、そして北海道立花・野菜技術センターと連携して「プロジェクト⇔アスパラキッズ」を名寄市農業振興センターで展開しました。

このプロジェクトは、市内小中学校の児童・生徒たちに名寄市を代表するアスパラガスを冬期間にポットで栽培し、「植物」及び「食物」としてのアスパラガスを観察して、「地域農業」と「食」への意識高揚を図ることを目的にしています。

当日、市内8校から参加した先生8名は、花・野菜技術センターの地子 立(じし たつる)研究職員から「とってもすぐわかるアスパラガス」を聴講し留意点等を聞いた後、花・野菜技術センターから提供されたアスパラガスの1年養成株をポット内へ植えました。

植えられた40株のアスパラガスは、各校それぞれの教室で育てられ、生長の様子が記録されています。

特に名寄市立名寄東小学校(千葉芳久校長)の4年1組は、5班に分かれ1ポットずつを育てた様子を話し合おうと、12月22日に観察発表会が行われました。

この模様はFMなよろAirてっし(地元ラジオ局)によって収録され、冬休み期間中に放送される予定です。

さらに普及センターでは、毎年1月下旬に開催される「名寄地区農業技術情報交換会」で、各小中学校の児童・生徒を代表して本プロジェクトについて発表しようと、情報の入手に努めています。



地子研究職員からの説明を
真剣に聞き入る先生たち



ポットへの移植作業



ポットへの植付状態を確認する



名寄市東小学校4年生 こんなに伸びたよ！

名寄市家族の樹づくり(家族経営協定)研修会を開催！

名寄市家族の樹づくりプロジェクトの主催する研修会が、12月2日に名寄市風連町福祉センターで「もっと知ろう！家族経営協定」をテーマに農業者、農業後継者、女性農業者、関係機関職員など45名が参加して行われました。

研修会の内容は、女性農業委員やプロジェクトメンバーによる朗読劇、富良野市の藤野啓一郎氏による家族経営締結事例報告、参加者が4～5名のグループに分かれての家族経営協定作成体験でした。

特に家族経営協定作成体験はグループ毎に経営主、経営主の妻、後継者など家族になったつもりでそれぞれの立場から意見を出し合い、家族経営協定を考えました。話し合いでは「思いやり農家」や「お互いを思いやり笑顔あふれる家族」など「思いやり」がキーワードになっていました。

「お互いを思いやること」、「経営や生活の目標を家族で共有すること」の大切さが再確認された研修会となりました。



朗読劇で家族経営協定を紹介



↑ 講師も交え、家族経営協定作成体験



講師 藤野啓一郎氏

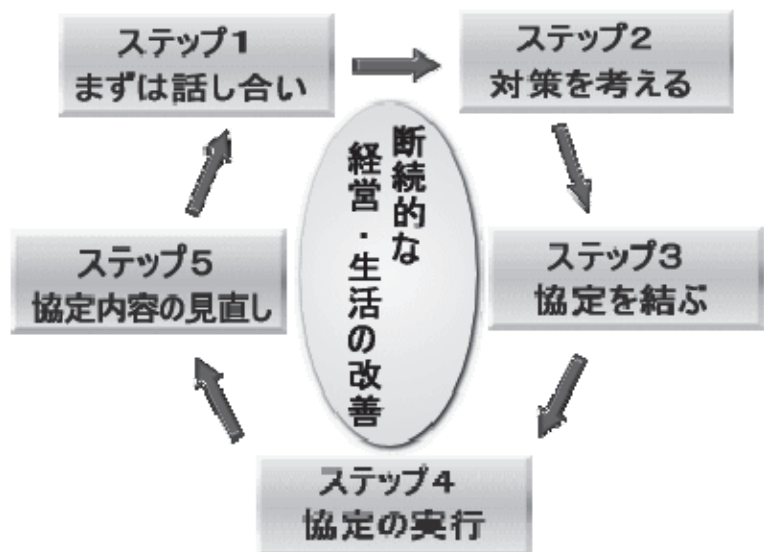


←出来上がった家族経営協定の内容を報告する参加者

新たな年の始まりです。あなたのお宅でも家族経営協定を考えてみませんか？

- ・我が家の目標は？
- ・今年の営農計画や所得目標は？
- ・家族の行事や生活の目標は？

など、経営と生活の目指す方向を決め、家族みんなで取り組めることから家族経営協定を考えてみましょう。



平成二十年度

役員道内視察研修



視察日 十一月十六日～十八日

参加者

中島 道昭、種田 芳雄、向井 孝夫、
菊池 隆、竹田 綱男、村上 清、
北野 昭一、木之内 興、神野 隆一、
平間 富雄、橋本 良久、佐々木昭二、
小川 健二、中村 耕司、尾崎 宏文、
松下 良行、合田 政行、石山 健一、
野崎 芳裕 計 十九名

去る十一月十六日から十八日の三日間、**㈱グリーンズ北見**、**㈱十勝圏振興機構**、**JAあさひかわ**北野支所にある**種籾温湯消毒施設**を視察研修して参りました。

○㈱グリーンズ北見

昭和六十二年四月、北見市、北見振興公社、JA北見市、JA上常呂、JA相内がそれぞれ出資して第三セクター方式で設立された株式会社であり、北見市内で生産される玉ねぎの付加価値を高めることを事業目的としています。

事業内容は、①農産物の二次加工（皮むき）冷凍、チルド食材の加工（百％業務用）、②冷凍クロツケ、フォンの加工、③オニオンスープ加工であり、使用される原料は全て北見管内の農産物で、玉ねぎ一万五千トン（うち外品一万二千トン、加工契約品三千トン）、大根二百トン（外品）、

人参四百トン（外品）、長葱百五十トン（外品）となっている。原料の出荷契約については、JAが責任をもつて供給することとなり、不作等による原料不足は発生しないことが好条件になっている。一番使用される玉ねぎの買入単価は契約加工品で三十五円/kg、外品で二十五円/kg、昨年の総売上高は約二十二億七千万円で純利益は約一千万円の成果があったとのことでした。



○**㈱十勝圏振興機構**（とかち財団）同機構は北海道の支援をうけ、十勝圏域における産・学・育の知恵とパワーを結集し、長期的・広域的な視点に立った「農業を核」とした地域産業の総合的な振興と活力ある地域社会の形成に資することを目的に設立された財団法人で、設立に係る基本財産は北海道、十勝管内市町村、同農業団体、民間企業・団体、金融機関等が拠出している。現在、十勝地域におけるバイオエタノール事業について先駆的な取り組みを実施、百％補助可能な事業を採択し、バイオ燃料地域利用モデル実証事業の支援を行っている。また、バイオエタノール実験プラントにより規格外小麦を使用したE3燃料（エタノール三％）を製造・使用しているが、E1○燃料（エタノール一〇％）の普及に向け、環境整備も含めた事業に取り組んでいる。

○JAあさひかわ

JAあさひかわは正組合員戸数二百八戸、販売額五十四億円と上川管内JAとしては金融・共済事業主体のJAであります。北野支所地区は水稲作付が主体であり、今回の視察となりました。

本年度当組合にて導入予定の種籾温湯消毒施設と同施設が、トレーサビリティに基づく食の安全に貢献するため導入されており、既に稼働は終了しております。

当該施設では、JAあさひかわの米作付面積二千二百九十二畝分の種子八十トンとJA東旭川からの委託分二十六トン、合計百六十トンを本年度温湯消毒処理したとのことで、使用するネットはコストはかかるが病害の蔓延防止の観点からワンウェイ方式で対応、作業工程としては、五kg/袋に袋詰めを行い、六十℃の温湯に十分、十℃の冷水に六分間浸けて消毒（水分率二十二％）、脱水（水分率二十％）、除湿（水分率十七％）、保管（水分率十七％）の工程を経て組合員引渡しとしている。説明と併せて一連の機械及び装置も見学させていただきました。

今回、三力所の視察研修を行い、それぞれに厳しい環境下であることは同様であります。この研修を踏まえ、組合員の負託と農協運営に努めることを確認し研修を終えました。

名寄市農業振興センターからのお知らせ

名寄市農業振興センター 名寄市風連町緑町396番地2
TEL:01655-3-2258 FAX:01655-3-2445

土壌診断を活用して、効率的な施肥実施・土づくりを

昨年末に農協よりご案内のあった土壌診断につきましては、現在農業振興センター土壌診断室で分析作業を進めております。診断結果は後日送付されますので、この結果を活用して、効率的な施肥実施と土づくりへの参考としてください。そのポイントをいくつかご説明します。

①土壌改良

土壌のpHは多くの作物で5.5～6.5の間が適正とされていますが、この範囲にあるとリン酸をはじめ、肥料分の効果が高くなります（ほかにも根の活性が高まる、土壌微生物の活動が活発になるなど、作物や土壌に良好な範囲です）。そのために石灰質資材による酸度改良は有効です。また、水稻ではケイ酸が土壌中に十分含まれることによって、稲に吸収された窒素あたりの玄米生産量が増加するほか、収量・品質にプラスの効果を及ぼします。肥料や地力を効率的に効かせるために、このような土改材の施用は省略できません。

逆に、圃場のリン酸含量が過剰の場合は、土改材として毎年施用しているリン酸肥料を減らせる場合があります。資材費削減の観点からも診断結果を必ず確認しましょう。

②各成分の施肥量に応じた肥料銘柄の選択

施用する窒素分に合わせて化成肥料の施肥量を決めたとき、リン酸や加里が必要以上に投入されては肥料費の無駄となります。特にこれらの成分が過剰に蓄積している圃場では、費用だけでなく作物にも悪影響を与えることがあります。

名寄地区でよく使われる肥料銘柄の他にも、各作物向けに様々な肥料銘柄があり、上記の場合には窒素に対してリン酸や加里の少ない銘柄を選択することで肥料費節減と適正施肥を実現できます。水稻でも、全層と側条肥料の銘柄の組み合わせで経費は大きく変わります。

③有機物資材の有効活用

土づくりに欠かせない堆肥や有機質肥料に含まれる窒素やリン酸、加里分といった肥料成分を無視せず活用しましょう。有機質肥料の各成分は肥料代替量として差し支えないので、そのぶん化成肥料を減肥します。

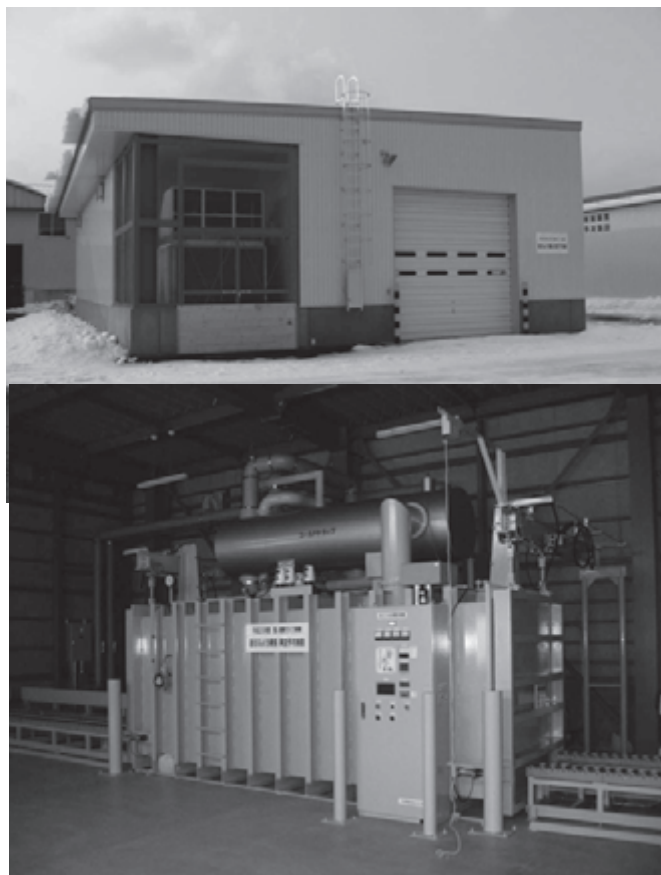
堆肥の施用は様々な良い影響を及ぼし生産力の向上に寄与しますが、必要以上に大量かつ連続して施用していると、リン酸や加里の過剰蓄積を招き、場合によっては土壌病害の発生を助長することがあります。このことは窒素による環境負荷も大きく、好ましいことではありません。堆肥の適正な施用量は一般的に年1～3t/10aであり、診断結果を照らし合わせながら堆肥と化学肥料を併用して、バランスを維持することが重要です。

近年は毎年のように「異常気象」と言われますが、気象変動の影響を少しでも少なくするのが「土」であり、気象が平穏に経過した場合でも、品質の高低や市場価格を決定づけるのも「土」です。土壌診断に加えて土づくり、排水対策などの気配りを欠くと土壌条件は悪化しますので、これからも定期的に土壌診断を行い、生産力の高い土づくりに努めましょう。

野菜真空予冷施設 & 馬鈴薯冷蔵貯蔵施設 完成

本年度、J A 道北なよろが主体となり国の補助事業として採択され新たに 2 施設が完成しました。

1 つ目は青果部選果センターに新設された「野菜真空予冷施設」です。この施設では、スイトコーンをはじめ生鮮野菜を一定時間真空状態にさらす事により野菜の気化熱を奪い、短時間で芯から冷やすことができ、また冷却による野菜への負担も少なく鮮度を維持出来るという特徴を利用し、受入から出荷までの時間短縮と鮮度維持により更なる有利販売を目指します。野菜産地として本施設を有効活用し、道北なよろブランドの確立を推進すべく、次年度からの稼動を予定しております。



2 つ目は智恵文馬鈴薯集出荷施設に併設された「馬鈴薯冷蔵貯蔵施設」です。

この施設は、馬鈴薯に適した室温に設定し、冬期間でも馬鈴薯に貯蔵ストレスを与えず本来の旨みを損なわないよう調整し貯蔵出来る施設で、これにより馬鈴薯貯蔵期間の延長・貯蔵能力の向上に伴い実需者のニーズに伴う長期販売が可能になると共に、高品質な馬鈴薯を販売する事が出来るようになります。多種多様な販売開拓による産地ブランドをさらに強化すべく、活用して参ります。



2008 地産地消フェア in なよろ

12月6日、名寄市の合併から旧イベントから引継ぎ今回で第3回目を迎えた2008地産地消フェア in なよろが開催されました。今年は名寄市民文化センターでの開催となり、沢山の人が賑わいました。

会場では様々なイベントが催され、農畜産物の試食などを通して、名寄市の基幹産業である農業や、大きく注目を集める地産地消に対する理解を深めました。本年夏に行われたなよろ産業まつりで決定した「もち大使」によるもちつきの他、風連産うるち米「こめごころ」の試食や、名寄産モチ米の試供品の無料配布、牛乳・牛肉・豚肉格安販売、地場産の食品販売が各出品者から行われ、J A 女性部等によるおしるこやおこわの試食、J A 青年部によるドン菓子の実演の他、ソバ打ち実演や商工会による地産地消バーガーも人気を集めました。

毎年恒例行事である「アイデア料理コンテスト」では、名寄産の米を使うことがルールで、沢山の応募作品の中から審査が行われました。審査結果及び入賞作品は以下の通りです。



名寄産の米を使ったアイデア料理コンテスト 審査結果

賞	氏名・グループ名	作品名
最優秀賞	チーム チャリダー	フォンダンショっくらもち
優秀賞	古川 真弓	おっ!! コメっとかくれんぼ。
優秀賞	山崎 春日	Oh! 米 (my) ミルフィーユ!!
藤花賞	金子 幸子	寒さに負けないもちの角巻き みそ煮込み
サンピラー賞	金子 幸子	寒さに負けないもちの角巻き みそ煮込み
道の駅賞	今田 正志	豆腐白玉
おと賞	Airでっし「午後のお茶会」そら	ぱりもっち春巻き (4種)
たまさぶろう賞	今田 正志	豆腐白玉



J A 道北なよろ青年部 大収穫祭開催

平成20年11月25日（火）に、J A道北なよろ名寄支所にて青年部収穫祭が行われました。各支部より実行委員（北野正嗣実行委員長）を選出し、実行委員が企画準備進行を行い、今年度の収穫を祝いました。

同青年部の青年部上川大会の様子を記録したビデオ上映に始まり、メイン企画として各テーブル毎6チームに分かれて旗揚げゲームならぬ「農産物上げゲーム」が行われました。これは今年度それぞれが収穫した「モチ米」「馬鈴薯」「牛乳」を持ち寄り、司会の掛け声に従って間違えずに上げ下げするゲームで敗者には楽しい罰ゲームが用意されるなど大変な盛り上がりを見せました。収穫祭の最後にはシークレット企画として「なよろアスパ恋08」による生ライブが行われ、今年度の収穫を祝うにふさわしく終始大盛況のうちに幕を閉じました。



女性部視察研修

女性部の視察研修が11月10日・11日の両日行われ、部員29名が参加しました。

今年度より初めての風連・名寄・智恵文の3支部合同視察研修とあって『支部間交流を深める』という事を大きな第一目的とし、甘納豆メーカー『とち岡女堂』で200点を越えるおかめコレクションのギャラリーを見学した後に、あかん遊久の里鶴雅に宿泊しました。

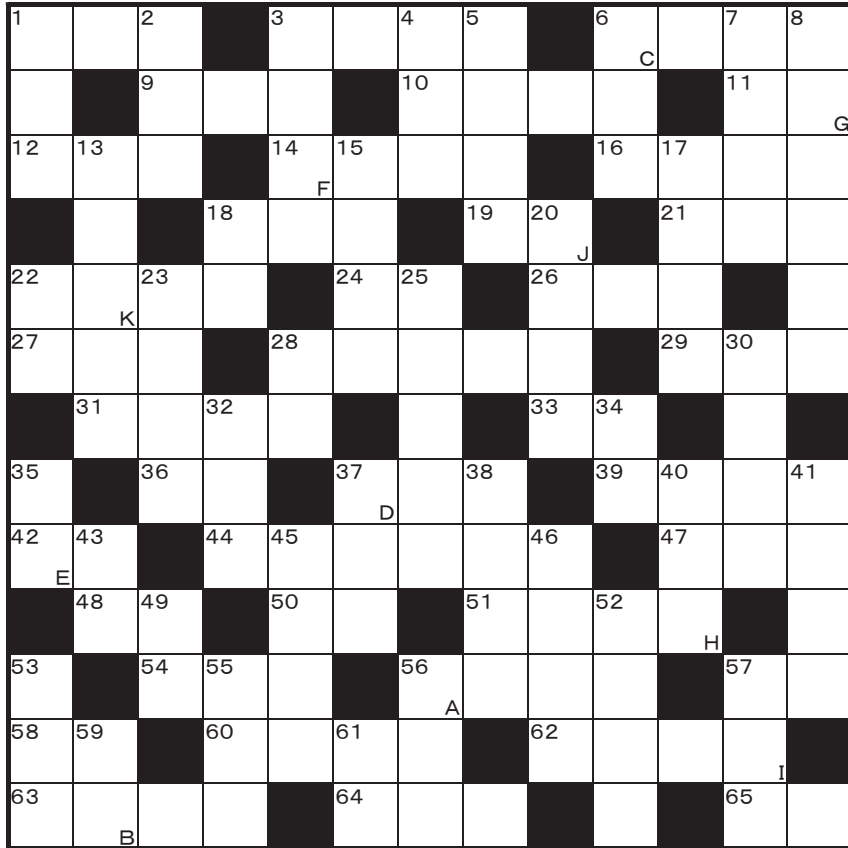
広い客室とたくさんの温泉につかり、農作業でたまった疲れも十分に癒せたようで、宴会の席では、初めて顔を合わせる方も多かったので一人ずつ自己紹介をし、意気投合した人たちも多かったようです。

移動時間が長かったり、峠を越えての行程なので雪等の天候が心配されましたが、「農家の母さんパワー」のお陰か晴天に恵まれ、お土産も両手にいっぱい抱えて楽しい視察研修となりました。

家族だんらん欄

あ…今朝は布団から出たくない…

冬到来のクロス



答えの分かった方は、本誌に添付されたハガキに答えを書いて送付してください。FAXでも受け付けております。

FAX 〇一六五五―三―四〇三七

正解者の中から抽選により五名様に『Aコープ商品券』をプレゼント致します。

多数のご応募お待ちしております。

応募締切 平成二十二年二月二十八日消印有効

出題 アイア株式会社
「クロスワードパクロス」より

タテのカギ

- 1 シメジ、エノキ…鍋物には欠かせない
- 2 〇〇〇物には福がある
- 3 冬の訪れを告げる雪
- 4 うれしいからポロポロ流れることもある
- 5 いか、昆布、数の子がコラボした〇〇〇漬
- 6 かわいさ余って〇〇〇百倍
- 7 コソコソ隠れて会うこと

■「子供は風の子、外で遊びなさい！」反撃された時には「大人は火の子だから」と言うと、「大人が“子”なの？ パパとママが火なら生まれた僕も火の子じゃないの？」「……」何も言えねえ(汗 A~Kを拾うと答えが現れます！

解答欄 答えはA~Kです。

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 8 雪上サーフィンとも言うべき冬のスポーツ
- 13 真冬のこの日に年越しそばを食べる
- 15 サッカーで敵のゴールを許さぬよう守る人
- 17 ねこがガシガシ引つかいて柱に残っちゃった
- 18 積もった粉雪はこれのようにサラサラ
- 20 海にヒヨコリ浮かぶ国
- 22 冬にミニスカートではここが寒そう
- 23 夏は冷房、冬はこれにしてエアコン起動
- 25 三色そばの黄色の部分
- 28 会話に付いて行けず「〇〇の外」に

- 30 スキ、キライ、スキ…と花びらでやってみる
- 32 キャビアやトリュフに代表される、ちよつと変わった味覚
- 34 敵に送るとはあつぱれ
- 35 スイッチを入れるのはON、切るのは？
- 37 ビニール〇〇〇で冬でも夏野菜を栽培
- 38 預金の出入りを知るため通帳〇〇〇〇〇〇する
- 40 韓流ブームに火を付けた『冬の〇〇〇』
- 41 木を削ると黒鉛の芯が登場
- 43 「八百八町」と呼ばれた将軍さまのお膝元
- 45 冬の夜回りの「火の〇〇〇〇」
- 46 地面より下にある部屋
- 49 無いい人で七つ、ある人は四十八あるらしい
- 52 自動車安全が定期的にチェック
- 53 怖い〇〇〇を聞くと夏でも背筋が凍る
- 55 喪失すると「ここはドコ…私はダレ…」
- 56 火山さんがストレス解消
- 57 「〇〇〇〇の者でござる」って忍者が言ってた
- 59 離乳食にも冬の冷えた身体を温めるにいい、水分の多いご飯
- 61 ゴホンゴホン、あら冬風邪かなこりや

ヨコのカギ

- 1 これを着て初詣でへ
- 3 ステーキの「レア」のよう
な焼き加減
- 6 あわや空中衝突
- 9 日本の冬に欠かせないばか
ばかちやぶ台
- 10 コソコソ隠れて約束すること
- 11 怒った先生の頭からニョキ
ツと生えてるみたい
- 12 冬の朝、池の表面に張ってる
- 14 雪合戦の弾丸
- 16 正月に国立競技場でやる
「天皇杯・決勝」はこのス
ポーツ
- 18 大回転やクロスカントリー
をするスポーツ
- 19 浮世絵を描く職人
- 21 氏名が載ってる一覧
- 22 電車の席の上の荷物置き
- 24 円周率記号の「π」の読み方
- 26 オタクとは少し違う?
- 27 数の子は〇〇〇繁栄を願う
おせち料理
- 28 「チーム青森」が有名にな
った冬のスポーツ
- 29 ツンドラは永久〇〇〇地域
- 31 冬至に食べると風邪をひか
ないという野菜
- 33 犬が〇〇向きや尾は東
- 36 長い人生、これがイイとき
も悪いときもある
- 37 ぶつといたバコ
- 39 鏡餅を正月の床の間に…
- 42 ハーメルンの男が吹く
- 44 あさつてのこと
- 47 エイトとテンの間

48 ジャガイモの芽にはこれが
あるので注意

- 50 杵とセツトで餅つき
- 51 1階にしかない、〇〇〇〇
収納のスペース
- 54 宴会の場で座る順番
- 56 風力で粉を挽く施設
- 57 〇〇より量の大食い
- 58 遠くて近きは男女の〇〇
- 60 地獄谷のサルが冬の寒さを
しのぐため入る
- 62 重石で野菜をギュッと圧縮
して作る
- 63 脇役が引き立てる
- 64 千載一隅の〇〇〇を逃しち
やならん
- 65 オフィスが重箱のように高
く重なっている建物

前回のフレゼント
パズルの答え

シロイオコメタベヨウ

正解者の中から抽選で次の五
名の方に商品券を贈ります。

(敬省略)

木田 景子 (名寄)

清水るり子 (智恵文)

鈴木 幸子 (風連)

松下 賢造 (風連)

熱田 克己 (風連)

声の広場

クロスワードが少し難し
く解けるまでに時間がかか
ってしまいました。でも、
頭の運動には丁度良いと思
います。次回も期待しまし
す。

風連町 匿名希望

☆ご期待に添えるようにこ
れからも続けていきます！
これからも是非参加して
下さいネ。

J A 合併して広報も充実
しており楽しみです。智恵
文に食用馬鈴薯の貯蔵庫建
設中ですが、地域の農業に
適慮されたこと、嬉しく思
っております。クロスワー

ドは楽しいです。経営移譲
しているの、頭の運動に
良く、老化防止に継続して
頂きたいです。

智恵文 斉藤 薫

☆タイトルの通り家族だん
して頂けたようで嬉しい限
りです。たまに脳を動かす
頭が痛くなるのは私だけ？
食欲の秋。新米、カボチ
ヤジャガイモ：何でもおな
か一杯に食べたいけど、メ
タバコが怖い今日このごろ！

名寄市弥生 木田景子

☆今号でも取り上げまし
たが、馬鈴薯施設は既に完成
しており、今後活躍してく
れることが期待されます。
クロスワードは続けて参り
ますヨ、

☆確かにメタバコは気になり
ます。けれど、食欲には勝
てません(汗)だって、オ
イシイんです！

農作業で疲れた脳に一
寸、刺激を与えて頑張っ
てみました。家族の皆で固く
なった脳がどうのこのうの
と、賑やかな時を楽しみま
した。

風連町中央 鈴木幸子

おじいさん、孫、私と3
人で楽しく答えを出しまし
た。力を合わせれば答えは
出るものなのですね。

風連町瑞生 松下豊子

☆家族だんらんデスネ、

理事会の経過

第九回理事会

開催日 九月二十五日

一、経理規程の一部改正について

提案通り決定

二、信用事業方法書（国債等窓口販売業務）の一部変更について

提案通り決定

三、組合と理事との契約について

提案通り決定

四、四千万円超の信用供与等に係る承認について

提案通り決定

五、二〇〇九年度中国農業研修生受入事業について

提案通り決定

協議事項

一、名寄市への要請について

提案通り決定

第十回理事会

開催日 十月二十四日

一、二〇〇九年度中国農業研修生受入事業について

提案通り決定

協議事項

一、地区別懇談会の開催について

提案通り決定

第十一回理事会

開催日 十一月二十一日

一、定例監査講評について

監事会報告通り決定

二、資産査定要領及び自己査定マニ

ユアル並びに資産の償却・引当基準の一部改正について

提案通り決定

三、関係団体への基金及び寄託金の拠出並びに外部出資の返還について

提案通り決定

四、信用事業方法書（金融機関等の業務代理）の一部変更について

提案通り決定

五、てしおがわ土地改良区に対する平準化資金及び償還特別対策資金の貸付について

提案通り決定

六、組合と理事との契約（貸付）について

提案通り決定

七、四千万円超の信用供与等に係る承認について

提案通り決定

八、資産査定について

提案通り決定

九、水田・畑作経営安定対策の「毎年の生産量・品質に基づく交付金」（旧黄ゲタ）の概算払いについて

提案通り決定

十、平成二十一年度営農計画書（案）について

提案通り決定

提案通り決定

水田・畑作経営安定対策の「毎年の生産量・品質に基づく交付金」（旧黄ゲタ）の概算払いについて

提案通り決定

十、平成二十一年度営農計画書（案）について

提案通り決定

退職

越前谷 しほり 平成20年8月31日

購買部購買課生活係

武士 博之 平成20年10月31日

購買部燃料課給油所係係長（名寄担当）

宮原 亜由美 平成20年12月31日

総務部総務課総務係

JAのあゆみ

8月18日～26日

…第二 四半期監事監査

20日…第7回営農委員会

25日…第5回購買委員会

25日…第6回総務委員会

27日…第8回定例理事会

9月 1日…棚卸監査

22日…第7回総務委員会

24日…第8回営農委員会

25日…第9回定例理事会

10月20日～23日

…全国監査機構監査

24日…第10回定例理事会

31日…棚卸監査

11月11日～14日

…第三 四半期監事監査

19日…第6回購買委員会

20日…第8回総務委員会

21日…第11回定例理事会

25日～27日

…地区別懇談会

12月18日…第9回営農委員会

18日…第7回購買委員会

19日…第9回総務委員会

22日…第12回定例理事会

		12月28日(日)	12月29日(月)	12月30日(火)	12月31日(水)	1月1日(木)	1月2日(金)	1月3日(土)	1月4日(日)	1月5日(月)	1月6日(火)	1月7日(水)
風連本所	金融共済	休み	8:45～16:30	8:45～16:30	休み	休み	休み	休み	休み	8:45～16:30	8:45～16:30	平常通り営業
	スタンド	休み	8:30～18:00	8:30～18:00	正午まで		午後5時まで	休み	休み	午後5時まで	休み	
	Aコープ	午後5時まで	9:30～18:00	9:30～18:00	正午まで		午後1時まで	休み	休み	休み	休み	
	他業務	休み	8:45～17:00	8:45～17:00	休み		休み	休み	休み	休み	休み	
名寄支所	金融共済	休み	8:45～16:30	8:45～16:30	休み	休み	休み	休み	休み	8:45～16:30	8:45～16:30	
	スタンド	7:00～22:00	7:00～22:00	7:00～22:00	7:00～22:00	7:00～22:00	7:00～22:00	7:00～22:00	7:00～22:00	7:00～22:00	7:00～22:00	
	他業務	休み	8:45～17:00	8:45～17:00	休み	休み	休み	休み	休み	休み	休み	
智恵文支所	金融共済	休み	8:45～16:30	8:45～16:30	休み	休み	休み	休み	休み	8:45～16:30	8:45～16:30	
	スタンド	休み	8:45～17:00	8:45～17:00	休み		休み	休み	休み	午後5時まで	休み	
	他業務	休み	8:45～17:00	8:45～17:00	休み		休み	休み	休み	休み	休み	



家庭用自動車共済

フルマスタ

新登場!

安心がそろってる、
ムダなくそろってる。

自動車共済の新スタンダード

JAがおすすめするのは、
家庭用自動車共済「フルマスタ」です!
まさかの時に必要な保障を
「ムリ、ムダ、ムラ」なくカバーする、
個人向けの最適保障です。

みんなに強い味方!

ご自身やご家族、
お車や相手方の保障が
ムダなくそろってる
安心のスタンダード
パックです。

(注)「フルマスタ」に加入できるのは
個人使用の自家用8車種に限ります。

1 ご自身・ご家族の保障 (傷害保障)

自動車事故により、ご自身やご家族が
ケガをされたときを保障します!

人身傷害

搭乗者傷害

歩行中等
自動車事故傷害

介護・自立
支援費用

過失割合にかかわらず共済金をまとめて
お支払い。ご自身やご家族に大きな安心
をご提供!

2 相手の保障 (対人・対物保障)

自動車事故により、相手にケガをさせたり、他
人の車や物を破損してしまったときを保障し
ます!

対人賠償
(無制限)

対物賠償
(無制限)

対物超過修理費用保障特約

無制限保障で相手方に対する保障も充実。
対物超過修理費用保障特約でさらに安心!

3 お車の保障 (車両保障・車両諸費用)

自動車事故でお車が破損したり、盗難や災害
に遭ったときを保障します!

車両保障
(全損害担保)

車両諸費用
保障特約

お車のリスクを幅広くカバー。付随的に
発生する諸費用も保障!

JA共済ホームページ <http://www.ja-kyosai.or.jp>

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書 (契約概要)」を必ずご覧ください。またご契約の際には、「重要事項説明書 (注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

●本人確認にご協力をお願いします。

お問い合わせは



本 所: 01655-3-2521
名 寄: 01654-2-4531
智恵文: 01654-8-2111

H20下
08481030398



ボーナスなどのまとまった資金のお預けに！

一時払生存型養老生命共済

たくわエール

一時払共済掛金 100 万円、10 年満期プラン

被共済者年齢：6 歳以上 80 歳以下の場合

一時払共済掛金

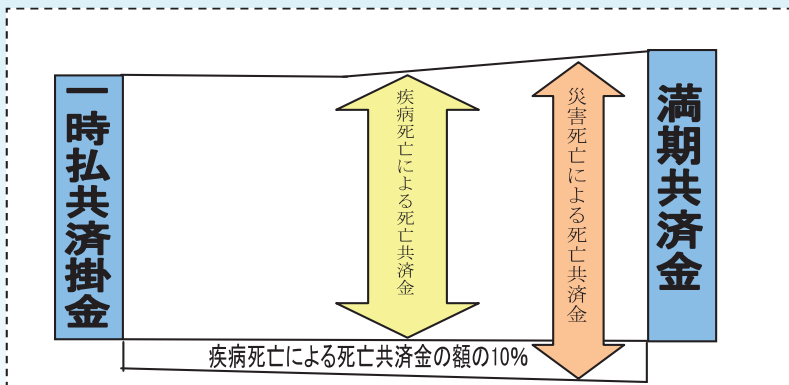
1,000,000円

10年後

満期共済金額

1,087,378円

●仕組みイメージ図



《死亡共済金》

満期日までにお亡くなりになられた場合、「共済掛金積立金」または「一時払共済掛金」のいずれか大きい額を「死亡共済金」としてお受取りになれます。災害または特定感染症でお亡くなりになられた場合には、「死亡共済金」の 1.1 倍の額をお受取りになれます。

《介護給付金》

所定の要介護状態になられた場合、「共済掛金積立金」の全部または一部(割合を指定いただきます)を「介護給付金」としてお受取りになれます。介護給付金をお支払いした後の「満期共済金」「死亡共済金」「解約返戻金」はご指定いただいた額を減じた額となります。

満期時利回り
0.87%

10年満期タイプのほか
5年満期タイプもあります！

共済年度	解約返戻金（課税前）
1 年	984,360 円
2 年	992,883 円
3 年	1,001,744 円
4 年	1,010,773 円
5 年	1,019,893 円
6 年	1,032,764 円
7 年	1,045,983 円
8 年	1,059,385 円
9 年	1,072,973 円

※記載の解約返戻金の表示金額は、各共済年度の 12 か月目にお亡くなりになられた場合・解約を行った場合の試算値です。お亡くなりになられた日・解約された日より異なる場合がありますのでご注意ください。また、解約された場合はそれ以後の保障が消滅しますので、ご注意ください。

6歳～85歳までの方で、以下の項目にあてはまらなければ、加入いただけます！

- ①現在、病気や外傷で、安静療養中である。
- ②今後、入院または手術の予定がある。

*①、②ともあてはまらない場合でも、ご職業などによってご契約いただけない場合もあります。

用語の解説

【共済掛金積立金】 ご契約時にお支払いいただいた共済掛金のうち、その一部は年々の死亡共済金のお支払いおよび契約の締結・維持に必要な経費に充当されますが、それらを除いた金額は「共済掛金積立金」として、将来の満期共済金をお支払いするために積み立てられます。

【満期時利回り】 満期時における一時払共済掛金に対する満期共済金の増加額を 1 年あたりに換算した場合の一時払共済掛金に対する利回り(単利)のことです。

満期時利回り = (満期共済金 - 一時払共済掛金) ÷ 一時払共済掛金 ÷ 共済期間 × 100

お申し込み・お問い合わせは下記まで

本 所：01655-3-2521 名 寄：01654-2-4531 智恵文：01654-8-2111